

京都北端のまち伊根町から

十七人が視察に

友好交流のまち伊根町と交流会

今年二月に友好交流協定を締結した伊根町の町議会議員・職員との交流会が、六月七日(金)から八日(土)にかけて、和東町内でおこなわれました。

初日は、はじめに日本茶インストラクターの松石三重子さんと松石博美さんを講師に迎え、「美味しいお茶の淹れ方」を体験されました。その後、和東町の町議会議員および職員との意見交換会において、両町の抱えている課題や取り組みが紹介されるところともに、活発に意見が交わされていました。



京都府景観資産登録第一号の「石寺の茶畑」を視察される一行

翌日は、茶^{ちや}香^か服^{ふく}を体験された後、製茶工場や和東茶カフェの見学、また京都府景観資産として第一号の登録を受けた「石寺の茶畑」を視察されました。この日は天候にも恵まれ、和東町の美しい茶畑景観を堪能されました。

この交流会を機に、今後様々な分野で交流を深め、両町のさらなる発展に向けて、ともに取り組むが行われる予定です。

出水期を前に

危険箇所調査

安心・安全なまちづくりをめざして防災パトロール



災害復旧現場を視察

六月十四日(金)出水期台風シーズンを控え、災害時に危険が予想される危険箇所を点検かねた防災パトロールがおこなわれました。

ルには、山城広域振興局副局長をはじめ、山城南土木事務所長、河川砂防室長、町議会議員、相楽中部消防組合消防本部署員、和東町消防団役員が参加されました。

はじめに午前九時三十分から、社会福祉センターで、この日のパトロール場所の概要説明が総務課担当職員からおこなわれました。

概要説明のあと、門前谷地区、別所地区と白栖地区の地すべり災害復旧工事現場をパトロールされました。和東町では今後も防災体制のさらなる構築と災害のないまちづくりをめざしていきます。

人事異動

平成25年7月1日付
()内は前職名

※係長以上の異動を掲載しています

【異動】

- ▼奥田 右・産業担当理事 (総務課長兼和東B&G海洋センター所長事務取扱) ▼大西峰夫・総務厚生担当理事兼議事事務局局長兼庶務係長事務取扱 (議会事務局局長兼庶務係長事務取扱) ▼大西正雄・総務課長兼和東B&G海洋センター所長事務取扱 (会計管理者兼会計課長) ▼北 芳美・会計管理者兼会計課長 (税住民課住民担当課長兼保険年金係長事務取扱兼住民戸籍係長事務取扱) ▼杉本 守・税住民課長兼保険年金係長事務取扱 (税住民課税務担当課長) ▼山中 賢・地域力推進課長兼企画係長事務取扱 (地域力推進課長) ▼東本繁和・建設事業課主幹 (建設事業課主幹兼建設係長事務取扱) ▼竹谷秀俊・農村振興課主幹 (農村振興課主幹兼茶業係長事務取扱) ▼馬場正実・地域力推進課長補佐兼観光係長事務取扱 (相楽東部広域連合派遣勤務) ▼岡田博之・税住民課長補佐兼税務係長事務取扱 (福祉課長補佐兼福祉係長事務取扱) ▼草水清美・総務課長補佐兼財政係長事務取扱 (総務課長補佐) ▼竹谷正則・建設事業課長補佐兼建設係長事務取扱 (地域力推進課長補佐兼企画係長事務取扱) ▼井上順三・福祉課長補佐兼福祉係長事務取扱 (人権啓発課長補佐兼啓発調整係長事務取扱) ▼中 みゑ・人権啓発課長補佐調整係長 (人権ふれあいセンター事業係長) ▼久保寿己・農村振興課環境係長 (農村振興課商工観光係長) ▼原田敏明・人権ふれあいセンター事業係長 (税住民課税務係長) ▼北 卓也・農村振興課振興係長 (総務課財政係長) ▼植村茂人・農村振興課茶業係長 (農村振興課振興係長) ▼和賀 聡・相楽東部広域連合派遣勤務 (農村振興課長補佐兼環境係長事務取扱)

和東町

水道水はどうして

できるの



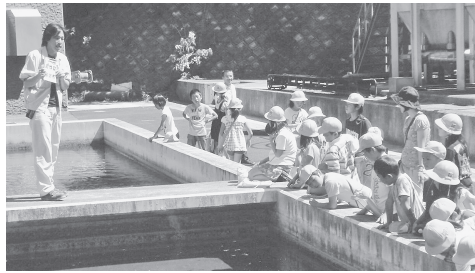
和東小4年 水道施設見学

六月十三日(木)、和東小学校の四年生が社会科の授業で和東中央浄水場を見学し、水道水ができる仕組みを学習しました。

浄水場に到着した児童たちは、役場職員から施設案内のパンフレットをもらい、川から汲み上げられた水がポンプを通して原水調整槽、一次ろ過装置、ろ過調整槽、緩速ろ過池、浄水池、そして配水池へと運ばれていく過程を、職員の説明を聞きながら興味深げに見渡していました。

また、中央管理棟の中央監視室でコンピュータがすべてを管理しているところを見学し、児童らは驚きの声を上げていました。見学の最後には、「どんなことに気をつけて水をつくっているのか」「水道管は何メートルあるのか。」など、数多くの疑問、質問が出され、職員が一つひとつ丁寧に答えていました。

児童らはこの日の水道施設の見学を通して、水道施設が生活に欠かせない水道水をつくる重要な施設であることと、資源である水の大切さを実感していました。



熱心に説明を聞く児童たち

七月七日夜は

晴れたらいいね

和東保育園七夕のつどい

七月七日の七夕の日にちなみ、和東保育園では、五日金に七夕のつどいが開かれました。七夕のつどいは一歳から五歳児までの園児が二階の遊戯室に集まり、午前十時三十分から始められました。

短冊に願いをこめて

集いでは、全員で七夕の歌を歌ったり、ペープサートを「織姫と彦星」を観賞したりしました。劇では、織り姫と彦星が一年に一度しか会うことができないので、七月七日の晴れた夜空に、二人がうまく出会えるかどうか、園児たちは、はらはらどきどきして観賞していました。



また、笹の葉には思い思いの願いが書かれた短冊や飾りが飾られ、七夕モードの色となり、園児たちはこの日のイベントを楽しみました。



和東町茶業史つうしん Vol. 6



和東の「茶がゆ」といえばどのようにして作られますか。今回は農家さんのお宅で「茶がゆ」を炊いていただきました。洗ったお米と水、それに番茶を入れた「ちゃんぶくろ(茶袋・木綿の小さい袋)」を鍋に投入。番茶がしっかり煮出されたらちゃんぶくろをすくい取り、強火で20分ほどで炊きあげました。炊いていると、番茶の香ばしい香りが、部屋中に広がります。塩を入れないあっさりとした味わいの茶がゆに、キュウリの古漬けや塩昆布がバッチリ合う。サラサラとして、何杯でもおかわりできる美味しさです。この茶がゆに使った番茶、実は「葉番茶」です。エンドウ豆やカキモチを入れても美味しいそうです。取材者：和東町観光振興協議会茶業民族調査員



茶がゆはキュウリの古漬けや塩昆布でおいしさが倍増

